

国内市場を捉え独自製品

日本バリデーション・テクノロジーズ（越谷市）

電子部品・デバイスの実装・薬剤評価のための

溶出試験行程の一部自動化システム（NVT-ADS）開発

一般的に服用・使用されている医薬品について、製品開発から製造までに使用される機器は厳しいチェックが課せられて、定期的な検査をしなければならぬ。

製剤の溶出試験器（製剤が規定通りに溶け出すことを測定する）も、検査の

中で用いられている。

ものづくり事業では、この溶出試験器を一部自動化する機械の開発を目指した。溶出試験器への錠剤投入、試験液の温度計測、フィ

で、「補液ポンプとフィルターチェンジャー」の部分までが開発・試作できている。今後は「オートサンブラー」という機能を付けて展開していく予定という。

日本のマーケットに合う独自商品の開発に踏み切ったのは、輸入ビジネスでは顧客ニーズとは別に、為替リスク（円安）が常に存在する上に、これまで長年の

顧客や取引先と密な関係を保ってきたという自負、マーケット情報を熟知しているという強みがあったため。製造業から始めた会社ではないのでさまざまな

ハードルもあったが、国内の技術力のある中小企業との連携で、試作、製品化ができた。今後の新製品も多いに期待される。



補液ポンプの部分と輸入機器の組合わせ

【日本バリデーション・テクノロジーズ株式会社】

本社は越谷市弥生町1-4 越谷弥生ビル2階。田辺熱代表取締役社長。設立は2002年で取引先は製薬会社と分析受託会社。医薬品の開発から製造までの各段階で使用される分析機器のバリデーション（検証）やキャリブレーション業務の受託、関連部品および分析試験用試薬の輸入販売サポートなどを行っている。